

ふれあい懇談会会議録（令和元年度 第4回）

団体名 市障がい福祉日中事業所
開催日 令和2年2月27日（木）
時間 13時30分～15時00分
場所 高平生涯学習センター（大会議室）
参加者 団体関係者30名
市長、健康福祉部長、社会福祉課長、障がい福祉係長、秘書課長、秘書課広報聴係長、秘書課広報聴係員

1. 開会の挨拶（NPO法人あさがお）
2. 市長挨拶
3. 職員紹介（市担当者）
4. 事業所紹介
4. 懇談会
 - （1）緊急時におけるショートステイ先の確保について
 - （2）グループホームの整備について
 - （3）新設される老人福祉センターの利活用について
 - （4）移動支援事業の利活用について
 - （5）障害福祉日中事業所における職員不足について詳細は別紙「ふれあい懇談会発言事項一覧」
5. 閉会の挨拶（NPO法人はらまちひばり）
6. 閉会

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
1	団体	緊急時の利用のため、既存の通所事業所等もショートステイ先として利用できるようにご対応いただきたい。	市	緊急時の定義や通所事業所での宿泊について課題等を整理し、実施に向けて関係機関と協議を行ってまいります。
2	団体	市立総合病院の地域包括ケア病棟の一室を利用できるようにご検討いただいていると思うが、その後の状況を教えていただきたい。	市	国では平成30年度から、緊急時の受入れ・対応の強化を図るため、ショートステイの事業所が、緊急時に定員を超えて受け入れられるように報酬改正が行われました。 本市において、市立総合病院では、在宅生活支援として、地域包括ケア病棟を開設しております。福祉サービスで対応が難しい場合は、利用の可否を検討いたしますので地域医療連携室にご相談ください。
3	団体	市内には重度の障害がある人が入所可能なグループホームがありません。親亡き後に我が子が安心して暮らし続けるために、グループホームが必要との声が出てきています。重度の障害がある人が利用可能なグループホームの整備を検討いただきたい。	市	これまで市内の障害者グループホームについて市単独で助成等したところはありませんでした。 一方、県では、「社会福祉施設等施設整備事業」において、施設整備に係る補助を行っています。この補助を申請をする際に、市で施設整備の必要性について意見書を提出することになりますので、その際には支援して参りたいと考えます。
4	団体	新設される老人福祉センターの利活用について過去の懇談会などで、新設される老人福祉センターは、高齢者のみではなく、障害のある人も利用可能と伺っています。新設される老人福祉センターの利用方法や設備などについて具体的に教えていただきたい。	市	市健康福祉センターについては、令和2年4月1日開所を予定して準備を進めています。 こちらの施設はバリアフリーとなっており、障がい者の方にも利用しやすいものとなっています。 設備については、トレーニング機器や屋外には健康遊具などを設置されるほか、以前要望いただいていたカラオケ設備についても、指定管理者と協議をすすめているところです。また、障がい者の方の施設利用料は免除になります。 3月末頃に内覧会を予定しておりますので、ご希望の場合は長寿福祉課までご連絡をお願いいたします。
5	団体	市内における移動支援事業の実施に向けて市と関係機関が検討できる場を設けていただきたい。	市	南相馬市・飯館村地域自立支援協議会の専門部会である地域生活支援部会において、日中活動、余暇支援、地域課題の検討などを行っていますので、事業所による移動支援事業の実施可能性についても検討してまいります。

ふれあい懇談会発言事項一覧

団体名：市障がい福祉日中事業所

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
6	団体	移動支援事業の市内実施に向けて、市でヘルパーの育成などを実施いただけないか相談させていただきたい。	市	移動支援事務従事者は、適切な外出介護サービスを提供するため、県の指定する者の行う養成研修を修了することが望ましいとされておりますが、福島県では、「ガイドヘルパー養成研修」の実施事業者がないため、ガイドヘルパー養成研修の開催はできない状況です。ただ、市移動支援事業は、居宅介護の県指定障害福祉サービス事業者に委託しており、ガイドヘルパー養成研修の受講は、従事要件としておりません。ヘルパー養成については、高齢分野と合同で、「介護職員初任者研修講座」を実施しておりますので、移動支援事業の市内での実施については、引き続き、関係事業所に協力を求めてまいります。
7	団体	障害福祉日中事業所における職員不足について、人材確保が困難な実態について、事業所関係者と共に国や県と一緒に発信させていただきたい。	市	福祉分野の人材確保については、非常に厳しい状況であることは市としても理解しておりますので、引き続き国や県へ要望してまいります。
8	団体	保育士の場合は、修学資金の貸付や宿舍借り上げ支援などがあるが、ヘルパーについてもそうした補助をご検討いただきたい。	市	市内に定住する方を増やすために、「奨学金返還支援事業」や「市内転居費用助成」、「就職活動交通費助成」を実施しております。これらは、福祉事業所も対象になっております。また、県社会福祉協議会では、県外居住者や県内避難者に対して、「介護人材再就職準備貸付」や「介護福祉士就学資金等貸付」を実施しております。市としましても、他自治体の先進事例等を確認しながら、人材確保・定着支援を検討してまいります。
9	団体	市には、障がい者が住みやすく安全なまち、便利で他県や海外との交流を深めて交通や施設等の完備、遊んだり子どもからお年寄りまで触れ合いが出来るまちづくりを目指して取り組んで欲しい。	市	災害時に心配することなく過ごせるまちづくりに取り組みたいと考えています。そのため、例えば移動支援や緊急時のショートステイ、移動支援のガイドヘルパーなど一歩でも前進して行けるよう進めて参りますので、知恵をお貸しいただければと思います。
10	団体	台風19号等の災害時に福祉避難所が非公式ながら2か所（原町共生授産園とNPO法人あさがお）で開かれましたが、私は知りませんでした。厚労省などからも福祉避難所における障がい者への配慮や自宅で過ごしている人などの把握に努めるように通知も出ているようですので、福祉避難所の情報提供の手法などについてご検討ください。	市	周知が不足していた件につきましては、今後の課題として受け止めており、そうしたことも含めながら福祉避難所の在り方を考えてまいります。また、今回は夜間の避難ということもあり、高齢者と障がいのある方へ電話連絡などを行い、垂直避難や自宅に留まるなどの対応を実施していただきました。今後こうした災害など不測の事態に備えてまいります。
11	団体	福祉避難所は、家族が障がいのある人を一人で置いてくることになるのでしょうか。家族は一緒に居てはいけないのでしょうか。	市	家族も一緒に来ていただいて構いません。

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
12	団体	福祉避難所の開所については、障がいを持つ子の保護者たちにお知らせして欲しいと思います。	市	今年度4月から地域防災計画を策定して、指定避難所と合わせて福祉避難所32か所を市のHPに掲載しています。 ただ、福祉避難所として協定を結んでいるものの、毎年、担当者が誰になるのかなど確認が手薄なところがありましたので、4月以降は全ての福祉避難所に連絡を入れましてホットラインの連携を取っていきたいと思います。 また、福祉避難所の開設順や、精神とか身体障がいの方たちの避難の在り方などについても、システム作りを議論させていただきたいと思います。
13	市	直接、福祉避難所に行くことが出来る仕組みを作りたいところですが、その対応で問題ないかを確認する必要があるほか、避難所となる事業所との調整や伝達手段の検討なども必要となってきます。 現在、障がいのある方が数千人いらっしゃいます。市では通常HPや防災無線で周知していますが、それだけで良いのかという問題もあります。 例えば事業所の方にご連絡させていただき、事業所から通所している方に連絡していただくのも一つの手だと思います。その方向についても相談させていただきたいと思います。	団体	郡山市でも福祉避難所が開設されましたが、先に一次避難所に行く必要があるため、一次避難所の厳しい現状を知っている方は避難しなかったようです。南相馬市さんは東日本大震災でも大変な思いを経験していますので、現場の方と行政で話していただき、その在り方を検討いただき、「南相馬スタイル」として全国に発信して欲しいと願っています。 その際の問題点としては、福祉サービス事業所が福祉避難所になるとそこを利用される方で避難が全て埋まってしまうということがあります。どのような人的サポートを入れるのか、スペースをどうするかという問題が出てくると思いますので、そこが大きな課題だと思います。
14	団体	私は叔父と母と3人で雇用促進住宅に住んでいます。一年ほど前に叔父が入院したことがあり、今も体調が悪くなく、母も高齢のため、叔父が再入院した場合、母と自分はどのようにしたら良いのかということを考えてと不安です。	市	例えばグループホームなどを一つ進められるようにするなどご提案があれば、市としても応援して参りたいと思いますので、どうしたら良いかなどあればご意見をいただきたいと思います。
15	団体	ショートステイが断られることがあるということですが、今年度何件ぐらい断られたか教えてください。	市	緊急時のケースについては全て受け入れいただいている状況です。
16	団体	ショートステイで受け入れてもらえる障がいともらえない障がいがあります。自分の立場で預かってもらえなかったことを考えたら恐ろしくなります。市外ではそうした重度の障がいでも預かってもらえるところがあるようですが、なぜ南相馬市には無いのでしょうか。	市	短期入所については国・県の指定では障がいによって受け入れを判断する決まりはありませんが、人材不足などもあり、重度の障がいがある方の対応ができず、お断りするケースがあるという話は伺っております。

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
	団体		市	総合病院の包括ケアも余裕が無い状態で、症状が軽度の方が対象で、重度の方や自由に歩き回れる人ですと夜間などの対応も含め、看護師を多く配置する必要があるため、難しい状況です。 一方で、状態によっては重度の方を受けても良いという事業所もあるようですので、行政でもお手伝い出来るかもしれません。検討させてください。 即時の対応は難しいというのも実態です。出来るだけ早く改善できるように努力して参りたいと思います。
17	団体	えんどう豆にお世話になっている者です。 建物が狭く、職員さんが可哀想だと思います。そういうところに働く場所として施設を作ってはいかがでしょうか。トイレなどは狭くて大変だと思います。 また、人手不足については、恐らく給料面が問題なのだと思います。大変な仕事なのでそれに見合った給料を出してあげれば、介護施設などが出来たり、介護士の学校を作ってあげたりすれば将来大変良くなると思います。	市	自治体が直接経営している施設は病院と高齢者施設の一部だけです。それ以外の医療、介護、障がい者、福祉、高齢者施設などは民間の方に頑張ってもらっていており、建物や運営に対して、国、県、市などが一部支援している形です。 そうした中で民間事業者の方が使命感で頑張ってもらっていることに感謝申し上げます。 ただ、どこの事業者も実態は経営状態が厳しいと思います。市単独の対応について個別にご相談いただいておりますが、まずは国・県の制度で使えるものは使っていただき、その上でご相談させていただきたいと思います。
18	団体	ガイドヘルパーが欲しいです。ガイドヘルパーが居れば、今までできなかったことが出来て、行けるところが広がったり、遊びに行くことができるようになるからです。 それから南相馬市にはグループホームが少ないので、作って欲しいです。	市	移動支援については、自立支援協議会の地域生活支援部会で検討しているところです。実現できるように進めて行きたいと考えていますので、もう少し時間をいただきたいと思います。 グループホームの整備も民間事業所と協議しながら、県補助の有効活用も踏まえ、整備出来れば良いと思っています。
19	団体	移動支援についてです。 先日取ったアンケートの休日の過ごし方に関する質問に対して、テレビやDVDを見て過ごす方が7割ほどいると回答がありました。 利用者さん達からは買い物や旅行に行きたいという声はありますが、実現できていません。 気軽に利用できる外出支援が必要だと考えています。		
20	団体	保護者です。私たちも出来るところでお手伝いできればという思いがありますが、他の地域の話を見ると10年前から駅前に移動支援の方が二人ついて、障がい者の方が自由に街の中を散策しているという話を聞くと、なぜ10年前どころか未だに出来ていないのかと思ってしまいます。市の方でも出来ることは先に進めていただければと思います。		

No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項
21	団体	保護者です。私も老人施設の介護員として働いていますが、人材不足はどこも同じ状況です。 自分の子を預けるとなると利用者としての要望は尽きませんが、それをお願いすることによる職員さんの負担も考えますし、負担が増えると職員さんも続かなくなるのではと思います、お願いすること自体を考えてしまうことがあります。	市	人手不足の対策として、例えば一般の奨学金を借りた保育士や看護師などが南相馬市で働く場合、それを免除するなど、南相馬市で働いていただけるように金銭的支援が出来る制度を一つ始めています。 もう一つは外国人を視野にいれており、外国人活躍センターを設置する話もでていきますので、しっかりと日本語を教えて、地域に溶け込んでいただきたいと思っています。 もう一つは、地域のお年寄りや定年退職となった方に週1、2日でも良いので、ちょっと身の回りのことにお手伝いいただくような意識を持っていただければと思っています。 助け合っていくことが大事だと思っています。数時間でも構いませんのでお手伝いいただける人が増えれば、今手伝っていただいている人の負担も減りますので、そうした機運を高める環境作りを進めていきたいと思っています。
22	団体	南相馬市の優先調達実績と次年度の実施計画を教えてください。また、市役所の各課に対する優先調達法の理解についての取り組みについて教えてください。なお、優先調達法は市の職員さんが個人的に購入するものではなく、市の事業として発注いただくものとなります。	市	調達実績としては29年度で670万円程度となっています。 障がい者の優先調達法に基づきまして市の各所管課へは調達の依頼を回っているところです。 次年度に向けては毎年計画をHPに掲載していますので、事業計画については皆さまにお知らせしたいと思います。
23	団体	仕事の幅を広げていきたいと考えていますが、どうしたらいいのでしょうか。 後、暮らしについては将来はグループホームに入りたいと思っているのですが、人がいっぱいグループホームに入れないということも聞きますので改善いただきたいです。 お金については給料と年金で暮らしていますが、独立した時、年金を受けながら生活保護を受給することはできますか。 後は医療の面で安くして欲しいと思っています。	市	就労については通所事業者さんにご相談いただき、市もそのコーディネートというところでお手伝いしていきたいと思っています。 また、グループホームについては受け入れ枠の拡大なども検討していきたいと考えております。 生活保護ですが、どうしても就労出来ない場合は対応できます。年金と障がい者年金で生活の基準に満たない部分については国、県、市で補助がありますのでご安心ください。 医療についても生活保護を受けたからといってご心配いただく必要はありませんのでご安心ください。
24	市	市に優先調達で使って欲しい物品を逆にご提案いただけないでしょうか。こうしたことを通じて、少しでも職員の皆様の工賃に回れば良いと思いますので、ご提案よろしく願います。	団体	了解しました。